

スポーツ健康科学部
2021年度生
演習選考の手引き

演習選考 申請上の注意点

【演習選考とは】

- 「演習Ⅰ～Ⅳ」「卒業研究A・B」のクラスを決定するための選考会です。原則、今回決定した担当者のもと、「演習Ⅰ～Ⅳ」「卒業研究A・B」を履修します。3年次の一般登録期間に「演習Ⅰ・Ⅱ」を、4年次の一般登録期間に「演習Ⅲ・Ⅳ」「卒業研究A・B」を各自DUETで履修登録してください。必ず決定したクラスを登録してください。

【受付・選考・発表について】

- 申請受付・発表の日程は次頁のとおりです。期限後の申請や、申請に不備があった場合はいかなる理由であっても受理しません。
- 各クラスの募集定員は【クラス定員一覧】に記載のとおりです。各選考時において希望者が定員に満たない場合は選考を実施しません。その時点でクラス決定となります。ただし、2次募集時以降における定員については定員均等化のため1次募集時の定員より減少する可能性があります（詳細は【クラス定員一覧】にてご確認ください）。
- 1次・2次募集時は、クラスにより、志望理由書（1000文字以内、オンライン入力）の提出が必要です（3次募集時は全クラス不要）。志望するクラスが志望理由書を必要とするか否かは、「ゼミ紹介と定員超過時の選考方法」に表示しています。
- 希望者が定員を超えた場合、選考を実施します。選考があるクラスはDUETで発表しますので、必ず確認してください。選考日程・選考方法については「ゼミ紹介と定員超過時の選考方法」にある説明をよく読んでその内容に従ってください。変更や追加連絡がある場合、DUETメッセージでお知らせします。
- 定員に達したクラスはその時点で募集を終了します。
- 在学留学等で対面の面接に出席できない場合は選考期間が始まるまでにスポーツ健康科学部事務室に相談してください。
- 大学のシステムトラブルでDUETが長期にわたり利用できない場合は、スポーツ健康科学部ホームページによる掲示を通じて諸連絡を行います。

【1次募集 特有の注意点】

- 1次募集で志望理由書の提出が必要なクラスに申請する方は、DUETにて志望するクラスを申請し、さらに志望理由書を専用フォームからオンライン提出して頂きます。どちらか一方が欠けた場合は申請について無効となりますので十分に注意してください。志望理由書の提出が不要のクラスについては、DUETでのクラス申請のみとなります。
- DUETの利用にあたっては受付終了間際に利用が集中することが予想されますので、余裕をもって申請手続を完了させるようにしてください。本学のネットワーク障害やサーバ障害によってサービスが中断される場合を除き、家庭のパソコンの不調等、個人の事情による登録手続の未完了や漏れ、ミスについては対応しません。
- DUETでの申請は、受付期間中であれば何度でも申請の変更を行うことができます。各クラスの希望者数表示は即時反映ではなく、30分毎に更新されます。申請後、Office 365に送信されるメールで申請内容を確認してください。
- 志望理由書はオンライン提出となります。提出先のURLはDUETメッセージを通じてお知らせします。提出は一度限りで、差し替えは認めません。

【2次募集 特有の注意点】

- 志望するクラスを1クラス記入の上、専用フォームからオンライン申請して頂きます。申請先のURLはDUETメッセージを通じてお知らせします。提出は一度限りで、差し替えは認めません。

【3次募集 特有の注意点】

- 志望するクラスを第3志望まで記入の上、専用フォームからオンライン申請して頂きます。申請先のURLはDUETメッセージを通じてお知らせします。提出は一度限りで、差し替えは認めません。志望に基づき、大学がクラスを決定します。

演習選考 日程

日 程	予 定	場 所
10月21日(金)	演習ガイダンス	オンライン
10月22日(土)～ 11月2日(水)	クラス説明会・相談会(一部クラスのみ)	詳細はゼミ紹介頁参照
11月7日(月)10:00 ～11月8日(火)17:00	1次募集 申請期間	DUET先行登録画面
11月7日(月)10:00 ～11月9日(水)17:00	1次募集 志望理由書提出締切	オンライン (提出先はDUETメッセージ 配信にて通知)
11月11日(金)10:00頃	1次募集 申請結果発表 1次募集で選考があるクラス発表	DUET メッセージ配信
	1次募集 選考	詳細はゼミ紹介頁参照
11月25日(金)10:00頃	1次募集 選考結果発表	DUET 先行登録画面
	2次募集で募集があるクラス発表	DUET メッセージ配信
11月30日(水)～ 12月1日(木)	2次募集 申請期間	オンライン (申請先はDUETメッセージ 配信にて通知)
12月2日(金)10:00頃	2次募集 申請結果発表 2次募集で選考があるクラス発表	DUET メッセージ配信
	2次募集 選考	詳細はゼミ紹介頁参照
12月9日(金)10:00頃	2次募集 選考結果発表	DUET メッセージ配信
	3次募集で募集があるクラス発表	DUET メッセージ配信
12月12日(月) ～ 12月13日(火)	3次募集 申請期間	オンライン (申請先はDUETメッセージ 配信にて通知)
	3次募集 選考	
12月21日(水)	3次募集 選考結果発表	DUET メッセージ配信

演習選考 各クラスの定員

【クラス定員一覧】

各クラスの1次募集における定員は以下のとおりです。2次募集開始前に定員が変更となる可能性があります。

	横山	藤澤	井澤	田附	柳田	北條	石井	竹田	二宮	石倉	中村	海老根	福岡	高倉	上林	若原	庄子	松倉	河西	新井	遠藤	築瀬	土屋
定員 (1次募集時)	11	12	12	11	11	11	12	11	12	11	11	11	11	11	11	11	13	11	11	12	5	5	5

2次募集における定員再設定ならびに募集について

2次募集以降は各クラスの人数均等化のため1次募集の募集、選考状況に応じて定員が再設定されます。

これにより、1次募集で定員未満であっても、2次募集を行わないケースが発生しえます。

以下に具体例を挙げて説明します。

(例)1次募集定員12名で希望者10名、2次募集で定員が10名に変更になるケース

1次募集時(定員12名)	2次募集時(定員10名に変更)
希望者が10名おり、全員当選。この時点では定員(12名)未満ですが・・・	・・・定員が10名に再設定された結果、希望者が定員を満たしますので、2次募集は行いません。

横山クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	横山 勝彦
演習テーマ・研究領域	スポーツ政策論
担当者の自己紹介	日本体育・スポーツ政策学会会長、同志社スポーツ政策フォーラム代表、元中央教育審議会スポーツ・青少年分科会特別委員会委員、滋賀県スポーツ推進審議会会長、(公財)京都青少年育成スポーツ財団常任理事、京都市「スポーツ殿堂」検討委員会委員長。柔道五段。
研究内容	スポーツは「社会の縮図」です。そして、今、必要とされているのは「持続可能な社会」です。そのため、ソーシャル・キャピタルと呼ばれる社会関係資本の形成が、政治や行政機関などで盛んに論じられています。 ソーシャル・キャピタルには、富・力というハードパワーと、信頼・互酬性・ネットワークというソフトパワーの2側面があります。スポーツは両者に機能する文化ですが、ともすれば一般化とともに具体的な利益に繋がりが易いハードパワー面が偏重される傾向にあります。望むべくはパワーのバランスです。 この演習では、スポーツを脳・心・身体の高度な総合体と捉え、それと法、政治、行政、教育、企業、ビジネス、メディア、医療、スポーツ団体といった社会を構成する諸アクターとの関係性を分析・検討し、スポーツを文化装置として社会に定着させる仕組みについて研究します。
履修することが望ましい科目	特に無し。

受講生に望むこと	スポーツ政策とは、変容する社会におけるスポーツの価値をテーマに、その進むべき方策を考えるための、問題発見・解決方法・政策提言・評価という一連のプロセスです。従ってそこには、これまでのいわゆる専門閉塞型では無い学際的なアプローチが求められます。 自身の問題意識を明確化させるレディネス強化のためにも、知的好奇心をしなやかに発揮され、幅広い学問分野から多くの示唆と知見を得られることをお奨めします。
1次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕 面接、志望理由書により選考。 ＜志望理由書＞ プロフィール紹介も含んだ志望理由書を提出とする。 ＜面接＞ 11/15(火)の16時40分から磐上館214教室にてTAとゼミ生を交え面接する。 応募者多数の場合、申請者を学生ID順に4名程のグループ毎にグループ面接を実施する。なお、各申請者のグループならびに面接時間については事前にDUETで周知する。
2次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕 面接、志望理由書により選考。 ＜志望理由書＞ プロフィール紹介も含んだ志望理由書を提出とする。 ＜面接＞ 12/6(火)の16時40分から磐上館214教室にてTAとゼミ生を交え面接する。 応募者多数の場合、申請者を学生ID順に4名程のグループ毎にグループ面接を実施する。なお、各申請者のグループならびに面接時間については事前にDUETで周知する。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	相談会を10/25(火)の3,4講時に対面で実施します。希望者は、該当時間内に盤上館214教室にお越しください。何か必要でしたらkyokoyam@mail.doshisha.ac.jpへ連絡してください。

藤澤クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	藤澤 義彦
演習テーマ・研究領域	スポーツ選手のパフォーマンスの測定と評価 (スポーツ測定評価論) 【スポーツ選手の資質に関する研究】 身体を測定し評価することは、 健康・体力の維持・向上 とともに 競技力を向上させる 上で、基礎的な役割を担うものです。色々な 測定法を理解し、実際の測定から得られた測定値を正確に評価し 、その結果をいかに 運用 するかに焦点を当てたいと思います。
担当者の自己紹介	同志社大学経済学部卒業後、体育教師を目指し大阪体育大学へ。その後、2年間INSEP(フランス国立スポーツ・技術・能力開発研究所)で、フェンシングの指導法とスポーツ科学を学び、フランス国家認定資格を取得しました。若い時は、フェンシング・ナショナルチームの指導者として、オリンピック・世界選手権等で、世界中を飛び回っていました。海外留学・遠征等で得た経験もゼミに生かしていきたいと思っています。
研究内容	私の専門領域は、“スポーツ測定評価論”です。 ゼミでは、特に スポーツ選手の「競技力向上」 に焦点をあて、身体・運動能力に関する色々な測定を行い、そこから得た測定値を分析・評価し、スポーツ選手に必要な「資質」を検討することを目的としています。 身体・運動能力を測定・評価することは、スポーツ科学を研究する第一歩といえます。 藤澤ゼミでは、色々な測定方法と評価法を通じて 「スポーツが上手な人は、なぜ上手なのか？」 、 「スポーツ選手の資質とは何なのか」 等についてみんなで考えたいと思います。
履修することが望ましい科目	スポーツ測定評価論, スポーツ統計情報処理, スポーツ・バイオメカニクス, スポーツ機能解剖学等を中心に、色々な科目を学習して下さい。

受講生に望むこと	藤澤ゼミは、色々な測定を行い、そのデータをもとにスポーツ選手の「資質」について、全員で話したいと思っています。また、 ゼミで体験した測定機器を使って、自分自身の健康・体力の維持増進、競技力向上やコンディショニング等に役立ててもらいたい と思います。ゼミの学習と運営それに「卒業研究」作成に積極的に取り組む “意欲” を持った学生諸君に是非受講してほしいと思います。
1次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕志望理由書, GPA, 単位取得状況等により総合的に選考します。必要があれば「面接」を行います。 ＜面接＞ 実施する際は、「対面」または「ZOOM」で行います。面接日程は志望いただいた学生各自のメールアドレスに通知します。
2次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕志望理由書, GPA, 単位取得状況, 等により総合的に選考します。必要があれば「面接」を行います。 ＜面接＞ 実施する際は、「対面」または「ZOOM」で行います。面接日程は志望いただいた学生各自のメールアドレスに通知します。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	・説明会は下記の日時で、対面で行います。 日時:10月25日, 12:30～13:00 場所:磐上館3F多目的実習室 ・相談等を希望する方は、 yfujisaw@mail.doshisha.ac.jp に連絡して下さい。

井澤クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 不要

担 当 者	井澤 鉄也
演習テーマ・研究領域	- 運動をミクロな視点で追いかけています - 継続的な運動はどのような仕組みで脂肪を減らすのだろうか：その分子機構を発見してみよう - ヒトの運動時のホルモンや生理活性物質の変化を唾液を用いて研究してみよう - 卒業研究では、その他にもスポーツ生化学や健康科学に関わる文献調査研究も行っています
担当者の自己紹介	兵庫県神戸市出身。筑波大学体育専門学群・大学院修了後、東京薬科大学薬学部、電気通信大学電気通信学部自然科学系列、東京都立大学理学研究科を経て、同志社大学スポーツ健康科学部に着任しました。
研究内容 「 http://izawalab.wixsite.com/izawalab 」 を見てください。	スポーツ(運動)生化学は、運動やスポーツを行う(あるいは行った)際に起こる適応機構を細胞や細胞下レベルで分子の動きを追いかけて明らかにしよう、という分野です。このような研究は国際的な学術雑誌に数多く掲載されています。当研究室では、動物の脂肪組織や骨格筋、肝臓を用いて、運動とは何か？を分子の動きで説明しようとトライしています。こうした研究に限らず、これまでの卒業研究ではヒト唾液中のホルモンや生理活性物質に及ぼす運動の効果も検討しています。それに加え、ゼミ生の興味に即して幅広くスポーツ科学に関する卒業研究も行なっています。 みなさん、生化学は難しそうだ、とよく言います。しかし、実際にはテクニカルタームさえ覚えれば何とかなるものです。遺伝子やタンパク質という見えない世界を見る面白さを実感してください。
履修することが望ましい科目	生理学, スポーツ生理学, スポーツ栄養学 スポーツ統計情報処理

受講生に望むこと	「プレゼンテーションの仕方」、「レポートの書き方」、「ストーリーの起承転結」、これらは学術論文に凝縮されています。学術論文はそれらの手続きに則っているからです。つまり、和文、英文を問わず、学術論文を読み込むだけでも力はつく！演習では国内外の最新の学術論文の抄読会と「学術論文(卒論)の書き方」を中心に学び、適宜、簡単な演習実験を行います。好奇心とやる気、がんばり、これだけあれば充分。
1次募集で定員を超えた場合	万が一、定員を超えた場合、これまでの努力を評価し、GPA順に決定します。
2次募集で定員を超えた場合	同上(この場合、2次募集で希望してくれた学生さんに対して上記と同様の対応をします)
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	1. 説明会を実施できませんが、下記「URL」をご覧ください。 https://izawalab.wixsite.com/izawalab 2. 質問や相談のある方は tizawa@mail.doshisha.ac.jpまでご連絡下さい。返答いたします。なお、私のメールアドレスからの返信が届くよう、ドメイン指定にご注意下さい。

田附クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 不要

担 当 者	田附 俊一	受講生に望むこと(目標も含まれます。)	1. 自己主張と他者の主張を認めるおおらかさ 2. 論理的思考と行動力 3. 自分を活かしてくれる場所を世界に求める視野(世界に出かけて欲しいと願います。個人的には多様な歴史、文化、言語、国境などが混在するヨーロッパで現地の人とディスカッションして欲しいと思います。) 4. 卒論のテーマはゼミ生の自由ですが、生理学的・生化学的実験は当該教員のゼミに進んでください(動作解析や調査は可能)。
演習テーマ・研究領域	<スポーツ運動学> 「こつ」や「かん」など、自分のからだを操ることにより、人生を彩り豊かにするスポーツや身体運動の実践的、理論的研究。	1次募集で定員を超えた場合	1. 定員の1/3から2/3をGPA順と面接で決定します。 なお、面接は希望される方のみを実施します。「演習テーマ・研究領域」や「研究内容」を研究したい方、「受講生に望むこと」を身につけたい方を希望します。 2. 面接希望者は10月22日(土)から11月8日(火)までに stazuke@mail.doshisha.ac.jp までご連絡ください。面接日時をご相談します。ご希望に応じて対面、ZoomやLINEなどで行います。なお、私のメールアドレスからの返信が届くよう、ドメイン指定にご注意下さい。 3. 決定発表および抽選日 (1)決定発表および抽選日時:11月15日(火)12時30分 (2)場所:磐上館141(運動学実験室) (3)GPA順や面接での決定者以外は公開抽選とします(抽選の仕方も、希望者にお任せします)。
担当者の自己紹介	・同志社大学文学部文化学科教育学専攻(現社会学部教育文化学科)卒業(体育会陸上競技部に所属・専門種目はやり投げ) ・筑波大学大学院体育研究科コーチ学専攻修了 ・同志社大学勤務(1991年より) ・ドイツ・マインツ大学客員研究員(1998年ー1999年) ・ドイツ・ミュンスター大学客員教授(2019年ー2020年) ・京都日独協会会長(ドイツに興味ある方はどうぞ、大歓迎) ・ドイツ・ハイデルベルク発祥のBallschule Japan理事(子どものボールゲームに興味ある方はどうぞ、大歓迎) 若い頃は自分や選手の競技力向上をテーマにし、陸上競技日本代表選手育成にも関わりました。 その後、関心はスポーツや運動による豊かな人生に移行し、子どもの時代の経験が大切と考え、幼稚園でも実践研究をしています。 スポーツは芸術、文学、演劇、食事など同様に人生の教養であり、このからだ文化に、興味は尽きません。	2次募集で定員を超えた場合	希望者に集まっていただき、公開抽選とします(決定の仕方も、希望者にお任せします)。 抽選・決定日:12月6日(火)12時30分、場所:磐上館141(運動学実験室)
研究内容	★ 環境の提供により、「教えない」で「できる」指導 1. スポーツや運動遊びにおける「駆け引き」の定量化と学習 1)フェンシングやバドミントンなどの個対個の駆け引き 2)サッカーなどのゴール型ゲームのスペースを見つけ、タイミング良く走り込む・パスを出す能力 3)ドイツのBallschule(ボールゲーム)を用いた時空間認知・行動(適切なタイミングで、適切な場所に動く)能力 2. コミュニケーションの観点による「運動遊び幼稚園」の取り組み評価 3. 運動やスポーツの指導と学習の理論的アプローチ 「アフオーダンス」や「世阿弥の風姿花伝」なども用いる。 4. 身体運動やスポーツを用いた言語の習得 5. 上記の実践的取り組み 1)京都府のタレント発掘・育成事業「京都きっず」の小・中学生トップ・アスリートのフィジカル・トレーニング 2)幼稚園での運動遊び、園児の保護者や幼稚園教諭との研究会	担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	1. 説明会・相談会(なお、説明は、左に記載のQRコードからご覧ください。) 場所はBJ:磐上館141. 出入り自由. 現ゼミ生へ相談可 1)10月25日(火)12時30分から13時 2)11月1日(火)12時30分から13時 2. 質問や相談のある方は stazuke@mail.doshisha.ac.jp までご連絡下さい。返答いたします。 日時を調整し、個別相談も受け付けます。なお、私のメールアドレスからの返信が届くよう、ドメイン指定にご注意下さい。 3. 11月上旬発刊予定の父母会報”DO FIELD”もご覧ください。
履修することが望ましい科目	特にこだわりません。		

柳田クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 不要

担 当 者	柳田 昌彦
演習テーマ・研究領域	主に公衆衛生学や学校保健などをベースとした健康科学に関する研究領域で、以下のようなキーワードに関連するテーマを扱う。ヘルスプロモーション、地域保健、産業保健、学校保健、生活習慣病、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、フレイル、介護予防、有酸素運動、レジスタンス運動、動的バランス、身体(不)活動、食生活、食育、ダイエット、肥満、痩身、疫学研究など。 また、各種競技における保健、衛生、医学的な諸課題についても取扱う。
担当者の自己紹介	群馬県高崎市生まれ。小中学校の教師を目指して群馬大学教育学部に入學したが、恩師や先輩との出会いから大学教員(研究者)の道に方向転換することになり、筑波大学大学院体育研究科修士課程、群馬大学大学院医学研究科博士課程を修了して、学位(体育学修士、医学博士)を取得。その後、栄養士や看護師、保健師の養成大学で教鞭を取り、同志社大学スポーツ健康科学部の開設とともに本学に着任。主な研究分野は、公衆衛生学や運動疫学で、専門実技は剣道(教士七段)。現在、同志国際学院初等部・国際部校長を兼任。
研究内容	●日本国民の身体活動状況と社会的要因、生活習慣病罹患・死亡状況等との関連(NIPPON DATA90&2010) ●レジスタンス運動と有酸素運動の複合トレーニングにおける順序性が高齢者の介護予防に及ぼす影響 ●地域における健康づくり運動支援システム構築の方法論 ●成長期の子どもの食育やライフスタイルに関する実態調査 ●剣道の心・技・体に関わる重要因子の科学的解明 ●各種競技における保健、衛生、医学的諸課題に関する検討など
履修することが望ましい科目	公衆衛生学や学校保健などの健康科学系科目と統計学に関わる科目を履修していることが望ましい。
受講生に望むこと	自主性、積極性、協調性、社交性を持ってゼミ活動に取り組んで下さい！

1次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕 「面接」および「成績(GPA)」により総合的に選考します。 <面 接> 【日 程】 11月14日(月)～11月18日(金) ※面接時間は約10分。志望した理由や興味を持っている研究課題、ゼミ活動の意志や抱負などについて質問します。 希望者間の時間調整が必要となる場合があるので、申請結果発表後、もし面接での選考が必要になった場合には、自分の都合のよい日時を速やかにメール連絡して下さい。 連絡先:myanagit@mail.doshisha.ac.jp なお、昨今のコロナウイルス感染症の感染状況を考慮して、zoomによる面接でも対応いたします。 【場 所】 公衆衛生学実習室(磐上館2階、BJ255)
2次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕 「面接」および「成績(GPA)」により総合的に選考します。 <面 接> 【日 程】 12月5日(月)～12月7日(水) ※面接時間は約10分。志望した理由や興味を持っている研究課題、ゼミ活動の意志や抱負などについて質問します。 希望者間の時間調整が必要となる場合があるので、申請結果発表後、もし面接での選考が必要になった場合には、自分の都合のよい時間帯を速やかにメール連絡して下さい。 連絡先:myanagit@mail.doshisha.ac.jp なお、昨今のコロナウイルス感染症の感染状況を考慮して、zoomによる面接でも対応いたします。 【場 所】 公衆衛生学実習室(磐上館2階、BJ255)
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	説明会については、既にYou Tubeで公開されておりますゼミ紹介用の動画(以下のURL)を参照して下さい。 https://www.youtube.com/channel/UCGTuZVDJNhPguISoNmdNvCg また、相談会(面談)については、随時受け付けますので、希望者は上記のメールアドレスに連絡して下さい。zoomでも対応可。

北條クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	北條 達也	履修することが望ましい科目	スポーツ医学A・B, 生活習慣病概論, 生理学, 機能解剖学等の医学領域の科目, 運動生理学関連の科目 履修をゼミ応募の義務とするものではありませんが, その知識があったほうがゼミでの活動が楽しいでしょうし, 私の領域に興味を持ってくれていることを私が了解しやすいです。
演習テーマ・研究領域	・スポーツ外傷・傷害の疫学調査 ・スポーツ傷害予防のためのメディカルチェック:野球肘検診等 ・ダンススポーツの傷害調査:バレエ・チア他 ・成長期の運動器検診の有用性の検討:小中高等学校運動器検診 ・高齢者のロコモ検診 ・物理療法(特に温熱療法・寒冷療法・電気治療)の有用性の検討 特に深部知覚(関節位置覚等)や筋疲労に与える影響の検討 ・アンチ・ドーピング関連	受講生に望むこと	研究領域や研究内容からわかるように, 毎年実施している検診事業やスポーツ現場での活動, 研究会活動(NPO法人)があります。 現場におけるいろいろな体験に興味を持ち, ゼミ生同士で協調性を持ち積極的に活動に参加してくれたり, 積極的にお手伝いをしてくれる意思のある学生さんを希望します。
担当者の自己紹介	中高大とクラブでテニスをしていたこともあり, 幅広くスポーツ全般に興味があり, それで整形外科医になりました。というわけで広い範囲でスポーツの外傷や障害の予防に興味をもって研究しています。また, 温泉好きが高じて温泉気候物理医学会の評議員・温泉療法医にもなりました…温熱療法・寒冷療法などの物理療法にも興味があります。いつまでもなんでも知りたい心(好奇心)を持ち続けることをモットーに仕事も遊びも実践しています。メタボ解消も兼ねて今もテニスを続けており, 最近山登りにはまり始めました。	1次募集で定員を超えた場合	・成績と志望理由書の両方を参考に判断しますが, 約半数は成績を優先, 残り半数は成績よりも志望理由書を優先して選考します。 ※注)確認事項等がある場合にはこちらからメール等で連絡し, 必要に応じてZoom等で面談します。 ・スポーツ現場におけるトレーナー活動や上記研究内容に関連すること(フィットネスクラブや医療機関でのリハビリ補助, スポーツ指導など)を実践している学生さんはその実績も評価します。また, ダンス領域のパフォーマンスを実践していてその研究に興味がある学生さんもプラス評価します。ただし, 採用を確約するものではありませんのでその点をご確認ください。
研究内容	スポーツ医学および健康医学領域で幅広く興味を持って研究を進めています。具体的には以下のような活動を実施しています。(一部コロナ禍のため実施できていない項目もあります) 1)スポーツ現場での傷害調査(研究実績:アメフト・ラグビー・サッカー・ラクロス・ゴルフ・テニス・陸上競技・チア・バレエ等) 2)京田辺地区小学生少年野球団の野球肘検診(500人/年) 3)ダンサーの傷害調査とメディカルチェック 4)小中学生の運動器検診の効果検証(附属小中学校検診に参加) 5)地域高齢者のロコモ検診実施(たなべ健康まつりに参加) 6)サウナ浴・温浴・冷水浴などが身体に及ぼす影響の研究とその現場応用の研究(福岡ゼミ・海老根ゼミとの共同研究もあり) 7)疲労やアイシングなどがパフォーマンス低下に及ぼす影響の検討やその改善方法の開発など 8)アンチ・ドーピング活動の実践(テニス競技大会現場での活動・学生さんにはシャペロン活動体験の場を提供:年数回)	2次募集で定員を超えた場合	・成績と志望理由書の両方を参考に判断します。判断基準は1次募集と同様です。 ※注)確認事項がある場合にはこちらからメール等で連絡し, 必要に応じてZoom等で面談します。
		担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	1. メールでの問合せ: thojo@mail.doshisha.ac.jp まで 2. Zoom によるゼミ紹介と参加者からの質疑応答を予定 #1: 10月28日(金曜日)12:30-13:00頃 #2: 10月31日(月曜日)12:30-13:00頃 に予定しています。参加希望者は事前に北條の上記メールアドレスまで参加希望の意思と参加希望日を連絡してください。ZoomのURLとpass wordをお知らせします。

石井クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	石井 好二郎
演習テーマ・研究領域	運動処方とは、競技力向上や体力向上、健康(肥満・生活習慣病の予防・改善、介護予防ほか)などの目的に対して、運動をどのように処方するか、という分野です。その目的に応じて、運動の種類・強度・時間・頻度(＋期間)を変化させる必要があります。しかし、目的だけでなく、スポーツ・運動の種目や、その期分け(トレーニング期、試合期、ピーキング期など)、年齢、性、障害・疾患の有無、社会的立場、気象環境の変化、安全面等々によって処方すべきことは数々あり、まだまだ、研究しなくてはならないことがたくさんあります。運動処方研究室では、このような課題に挑むことをテーマにしています。
担当者の自己紹介	学士、修士、博士をすべて異なる大学で取得しました。大学教員としても広島大と北海道大、同志社大の3大学を経験しており、多様性と学際性を重んじます。そして、人間は良くも悪くも変わることを知っています。特に若い時の変化は、その時には気づかなくても、後に大きな違いになっているものです。だからこそ、石井は学生に同志社内ですべて完遂せずに、多くの経験をしてほしいと望んでいます。
研究内容	石井研究室(運動処方研究室)は、身体そのものや、それを取り巻く環境など、より実際の研究に重点を置いています。具体的な課題の解決方法を探り、社会に還元できる成果を発信していきます。以下のような領域が研究内容です。 ・身体活動、睡眠、生活習慣に及ぼす地理・居住環境の影響 ・女性のエクオール産生能と月経前症候群・睡眠・骨密度・身体組成 ・高齢者のサルコペニア・フレイルに関する研究 ・肥満研究 ・コンディショニングのスポーツ栄養学 ・競技力向上のためのストレングス&コンディショニング ・ランニング・ウォーキングによる健康づくりプログラムの開発 ・食生態・食習慣に関する研究
履修することが望ましい科目	2年次までの必修単位は取得しておいた方が良いでしょう。また、当研究室に限ったことでは無いかもしれませんが、4年時には演習の授業程度の履修にし、就活・卒論に集中できる態勢が望ましいです。

受講生に望むこと	石井研究室は実学の研究室です。私たちが明らかにしていくことが人々の暮らしを豊かにします。希望を持って入学した時を思いだしてください。また他大学・研究機関の先生・学生との交流を奨励しています。学会や研究交流会へ積極的に参加しましょう。
1次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕 面接、志望理由書により選考 ＜面接＞ 【日時】11月14日(月) 10時～12時、16時～18時 11月15日(火) 10時～12時 11月18日(金) 10時～11時30分、15時30分～18時 【場所】個人研究室(磐上館3階BJ307) ※上記時間内で面接時間を担当者にメールにて申し込んだ後、研究室まで来室すること。希望時間は先着順です。面接は10分程度。 ※担当者メールアドレス kishii@mail.doshisha.ac.jp
2次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕 面接、志望理由書により選考 ＜面接＞ 【日時】12月5日(月) 16時～18時 12月6日(火) 10時～12時 【場所】個人研究室(磐上館3階BJ307) ※上記時間内で面接時間を担当者にメールにて申し込んだ後、研究室まで来室すること。希望時間は先着順です。面接は10分程度。 ※担当者メールアドレス kishii@mail.doshisha.ac.jp
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	ゼミ説明会: 10/25および11/1(火)12時30分～13時 磐上館2階カンファレンスルーム。3年ゼミ学生が担当。 ゼミ相談会: 10/25および11/1(火)4講時目 磐上館1階運動処方実験室(石井ゼミ室)。3年ゼミ学生が担当。 石井ゼミFacebook https://www.facebook.com/doshisha.ishiilab/ 石井ゼミInstagram https://www.instagram.com/ishii_lab2022/ 

竹田クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	竹田 正樹
演習テーマ・研究領域	研究領域: スポーツ生理学, トレーニング科学 テーマ: スポーツ時の代謝特性に関する研究 トレーニングに対する生理的効果, 高所トレーニング, 暑熱トレーニング 高精度GPS計を用いたスポーツ中の運動解析 宇宙生体工学(重力低減時の生理的反応) 子供および高齢者の認知機能と運動・身体活動 ノルディックウォーキングの生理学
担当者の自己紹介	博士(体育科学)筑波大学 日本体力医学会評議員, 日本運動生理学会評議員 京たなべ・同志社スポーツクラブ会長 日本ノルディックフィットネス協会会長 世界ノルディックウォーキング連盟理事(科学委員会委員長) 全日本スキー連盟Division1コーチングスタッフ
研究内容	過去の卒論テーマ(例) ・ラグビー選手を対象とした冷水浴が筋機能回復に及ぼす効果 ・クロスカントリースキー選手における上半身パワーとパフォーマンスの関係 ・水泳選手の上半身パワーとパフォーマンスの関係 ・バスケットボール選手における利き手と非利き手の違いがドリブルに及ぼす影響 ・2週間にわたる高所トレーニング中の自律神経機能および身体コンディションの変化 ・運動中の筋バイブレーションが身体パフォーマンスに及ぼす影響 ・野球におけるベースランニングの最適化の検討 ・カヌー500m競技におけるペース配分の違いがパフォーマンスに及ぼす影響(次年度も継続) ・ラグビー選手における高強度インターバルトレーニングが走能力に及ぼす影響(少なくとも今後2年間継続) ・ゴルフのパットिंगストロークの練習機がパフォーマンスに及ぼす効果(次年度発展させる) ・ノルディックウォーキングと通常歩行の生理学的相違 ・ノルディックウォーキングの下肢関節負荷軽減効果 ・ピラティストレーニングが体力に及ぼす影響

履修することが望ましい科目	・高齢者におけるダートトレーニングが認知機能に及ぼす影響 ・認知機能改善を目的としたダーツ中の脳血流動態(継続3年目) ・小学生児童の認知機能に及ぼす一過性運動の効果 ・幼児における運動の種類が体力および認知機能に与える影響 生理学, 機能解剖学, スポーツバイオメカニクス, スポーツ統計処理
受講生に望むこと	卒業研究を一生懸命, 真面目に取り組む事のできる人は来てください。一生懸命ゼミ活動をすれば, 研究の一端に触れることができます。スポーツ健康科学部学生の集大成として必ず充実すると信じています。 過去のゼミ生は, 皆さん様に「このゼミに入れて本当に良かった」と言ってくれております。しかし, それは私とゼミ生との信頼関係が <u>あって初めて達成できるものです</u> 。皆さん自身の自覚と責任, <u>そしてやる気が言うまでもなく必要です</u> 。私も努力しますので, 皆さんも努力を惜しまないで下さい。 スポーツ科学でスポーツパフォーマンスの謎を解き明かし, パフォーマンス向上と一緒に考えていきましょう。スポーツ科学は本当に面白いです!
1次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 学業成績, 面接, 志望理由書をもとに, 総合判断します。 <面接> 【日時】 11月14日(月)13:00~17:00 (来た人から順番に面談します) 【場所】 個人研究室(磐上館BJ301)
2次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 学業成績, 面接, 志望理由書をもとに総合判断します。 <面接> 【日時】 12月5日(月)13:00~17:00 (来た人から順番に面談します) 【場所】 個人研究室(磐上館BJ301)
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	ゼミ紹介用オンデマンド資料等は特に用意しておりません。質問等がありましたら, 個別にメールで問い合わせてください。アポを取ったうえで直接部屋に聞きに来てもらっても結構です。 mtakeda@mail.doshisha.ac.jp 火曜日3, 4講時の前後に実験室(138号室)来ていただければ話をすることが可能です。上級生に話を聞いてもらってもいいです。

二宮クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	二宮 浩彰	受講生に望むこと	活気のあるゼミにしたいので、 スポーツマネジメントに関心があり 、 学業と研究活動はもちろん、プロジェクト研究、フィールドワーク、スポーツ体験、スポーツ観戦、セミナー、ゼミ合宿、ゼミ交流 、などに積極的に取り組み、二宮研究室の発展に寄与していただきたい。
演習テーマ・研究領域	演習のテーマは、スポーツを手段とした地域社会の活性化およびスポーツ産業の発展を目指したスポーツマネジメントです。演習では、現代社会におけるスポーツの諸現象を取り上げ、スポーツマーケティングの理論と方法論を援用することによって、スポーツがもたらす経済効果、社会効果、環境効果について考察します。	1次募集で定員を超えた場合	志望理由書、学業成績、学内外活動、面接によって選考します。二宮研究室で10分間の個人面接 11月14日(月)9:00～16:00 hninomiy@mail.doshisha.ac.jp 宛に、面接可能な時間帯をメールで知らせてください。折り返し、面接時間を連絡します。面接日に都合がつかない場合はメールで相談してください。
担当者の自己紹介	マラソン参加者やプロバスケットボール観戦者のスポーツ消費者行動を分析する研究をしているので、参与観察をするために自身もスポーツ参加やスポーツ観戦を実践するようにしています。 趣味は、アウトドア・スポーツ全般(ロードバイク、マウンテンバイク、ウインドサーフィン、カヤック、サップ、フィッシング、スノーボード、スキー、トレイルランニング、スノーケリング、フリスビードッグ)。	2次募集で定員を超えた場合	志望理由書、学業成績、学内外活動、面接によって選考します。二宮研究室で10分間の個人面接 12月5日(月)9:00～15:00 面接可能な時間帯をメールで知らせてください。
研究内容	スポーツ組織が集客に成功するには、人々が求める商品やサービスがどのようなものなのかを知る必要があります。つまり、顧客の嗜好や満足度といった消費者行動を理解した上で、マーケティング・ミックスを構築することが重要です。マーケティング・リサーチでは、スポーツ消費者およびスポーツ組織を対象としてデータや資料を収集します。得られた情報を整理して分析することによって、スポーツ消費者行動やスポーツ組織行動を実証的に把握することを目指します。二宮研究室(ゼミ)では、地域社会とスポーツのマーケティングに関心事として研究活動を行っています。 「沖縄県におけるスポーツツーリズム観光資源の有効活用策」 「都市型市民マラソン開催地のデスティネーションイメージ研究」 「プロスポーツにおけるファン獲得と地域密着のための調査研究」 「スポーツマーケティングによる地域活性化のためのSWOT分析」 などのプロジェクト研究やフィールドワークに取り組んできました。これらの研究成果を活用して、スポーツ組織における経営上の問題解決や意思決定といったマネジメントに役立てるための貴重な資料を提供することができます。	担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	二宮ゼミ説明会のZoomミーティングを実施します。 2022年10月25日(火)12:30～13:30 https://us06web.zoom.us/j/86156175597?pwd=MjRxTzNKUDBDODNwUkVWYkZjV2Z1QT09 ↓ Zoomミーティング    DOSHISHANINOMIYALAB 【同志社大学スポーツ健康科学部】スポーツマーケティング ↑ 二宮ゼミ - YouTube https://www.youtube.com/watch?v=wRAGg8eNk1w Instagram にて、二宮研究室のメンバーや活動の紹介をします。 「同志社大学二宮ゼミ」Instagram ↑ https://instagram.com/doshishaninomiylab?r=na_meta9 インスタグラムの質問箱で、二宮ゼミについての質問を大募集！ 二宮ゼミの説明会で、ゼミ生が質問に回答させていただきます。 個別に質問や相談がある場合は、メールでお問い合わせください。 hninomiy@mail.doshisha.ac.jp
履修することが望ましい科目	興味のある社会科学系の科目があれば、他学部の開講科目も含めて履修すると、スポーツマネジメント研究に役立つでしょう。		

石倉クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	石倉 忠夫
演習テーマ・研究領域	本研究領域では、「スポーツ」「運動」を対象として「ヒトのこころの動きや行動」を理解していきます。 本演習で取り扱う対象は次のように多岐にわたります： ①スポーツ技能の学習、②スポーツの動機づけ、③スポーツ社会心理、④競技の実践心理、⑤スポーツメンタルトレーニング、⑥健康スポーツの心理。
担当者の自己紹介	運動スキルを能率的に学習させるためには、どのように工夫したらよいのかについて大学生の時から興味を持っています。 研究キーワード：示範提示法(観察学習)。フィードバック情報の与え方。指導者の言葉かけ。社会的スキル。メンタルスキル。知覚-運動制御。
研究内容	運動スキル指導法、メンタルスキル、認知的スキルなどをキーワードとして研究しています。脳波や心拍数、注視運動などの心理生理学的データを手掛かりとして研究する例もあります。 演習で取り組んだ活動内容や研究テーマをHPで紹介しています。 「石倉研究室」 http://www1.doshisha.ac.jp/~tishikur/index.html をご覧ください。
履修することが望ましい科目	B群「スポーツ心理学」「メンタル・トレーニング論」、その他心理学関係科目

受講生に望むこと	素朴な疑問を大切にしてください。そして自ら学んでいく姿勢を育てていきましょう。 <u>3回生のうちに卒業研究計画を終えるスケジュールで考えています。意欲に富んだ方を望みます。</u>
1次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 書類選考 【判断基準】 志望理由(興味関心事、卒業後の進路など)、単位取得状況、課外活動状況などをもとに総合的に判断します。
2次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 書類選考 【判断基準】 志望理由(興味関心事、卒業後の進路など)、単位取得状況、課外活動状況などをもとに総合的に判断します。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	相談が必要な場合は、まずはメール連絡してください(tishikur@mail.doshisha.ac.jp)

中村クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	中村 康雄
演習テーマ・研究領域	スポーツ・バイオメカニクス (スポーツ動作の測定・解析)
担当者の自己紹介	自己紹介としてゼミの運営について簡単に紹介します。就職活動が忙しくなる前に、卒業研究を進めています。次年度は、今年度と同様に、以下を予定しています。 演習1では、実験方法の習得と、研究の背景(経緯)を調査します。 ・動作解析の習得では、皆で実験テーマを1つ決め、測定・解析。 ・卒論の参考となる文献の内容をパワーポイントにて発表。 学期末にレポートとして「文献レビュー」を提出。 (レポートは、卒業論文の第1章(はじめに)の一部に相当) 演習2では、卒論の実験計画を立案します。また、予備実験を実施することで想定した結果が得られるのかを調査します。 ・前半は、卒業研究の実験計画を立案し発表。 ・後半は、実際にデータを計測し予備実験を実施、結果を発表。 ・学期末にレポートとして「実験計画書」を提出。 (レポートは、卒業論文の第2章(実験方法)の一部に相当) 大学の常識として普通に研究を進めれば、単位が認められます。しかし何もせずに、研究が進まなければ、単位は認定されません。
研究内容	さまざまなスポーツに関して、バイオメカニクス分野における新しい知見を得ることを卒業研究の目的としています。参考までに、これまでの卒業研究の例を記載します。 1. 野球の投球動作、打撃動作の解析 2. 肩甲骨の動作解析 3. サッカーのキック動作の解析 4. アーチェリーのシューティング動作の解析 5. 歩行や、ランニング動作などの動作解析 6. 卓球の動作解析も実施する予定 基本的に動作解析がメインとなりますが、対象とする競技は、皆さん自身で決定していただきます。

履修することが望ましい科目	スポーツ機能解剖学 スポーツ・バイオメカニクス スポーツ統計情報処理
受講生に望むこと	ゼミを欠席した場合、必ず各自で別に時間を設けて、研究を進めるための作業を実施してください。 卒業研究を進めることが非常に重要です。その基礎となるゼミ内の発表と、レポートの提出を重視します。いずれも、卒業論文の作成に直接利用できる資料となります。一般的な運用方法ですが、無駄な作業は全く無く、効率的に卒業研究を進める手法のひとつです。
1次募集で定員を超えた場合	GPAと志望理由書により総合的に選考します。 備考:GPAが等しい場合は、単位数が多い方を上位とします。 志望理由書は、希望する研究テーマと提供できる研究テーマのマッチングを評価します。
2次募集で定員を超えた場合	GPAと志望理由書により総合的に選考します。 備考:GPAが等しい場合は、単位数が多い方を上位とします。 志望理由書は、希望する研究テーマと提供できる研究テーマのマッチングを評価します。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	火曜の夕方に、スポーツ・バイオメカニクス実験室(BJ158)でデータ計測をする場合が多いです。興味のある方は、ご見学ください。

海老根クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	海老根 直之
演習テーマ・研究領域	『エビゼミ』では、栄養・運動・休養、食事とパフォーマンスなどを題材に、学生それぞれの目標達成に向けて <u>チーム</u> で学んで行きます。 学年で区別・制限せず、3年生から大学院生まであらゆる活動で連携し、先輩や後輩と強い絆を築く“縦ゼミ形式”となっています(社会を模した環境で、絆は一生の資産でもあります)。 主な到達目標は、①卒後に生きる知識と思考力の獲得、②組織で発揮できる人間力の獲得、③自分磨きを楽しむ姿勢の獲得です。 社会人としての成功を支える力を内面から高めてゆきます。当ゼミでは、卒業研究の完成を通過点と位置づけ、課題の達成過程を楽しみながら自信を一つずつ積み重ねて行きます。
担当者の自己紹介	体型から予測がつかない「栄養学」と「バドミントン」が専門で、おまけの予測不能因子として、養護学校の教員免許も持っています。 筑波大学で学部から博士取得までの9年間を過ごしました。先端技術を学ぶため、カナダのMcGill University(Human Nutrition学部)に3年間勤務し、その後は国立大学医学部の公衆衛生学講座で教員をしていました。原点回帰を決意し、2008年の学部開設時に同志社に赴任しました。最近では、卒業生を招いてのゼミ合宿や卒業生との授業内交流など、ゼミの歴史を生かしたプログラムが提供できるようになっていて、嬉しい限りです。
研究内容	様々な研究を行っていますので、下記は <u>その一部</u> となります： ・食事やサプリメントが健康や運動パフォーマンスに及ぼす影響の検討(水素サプリやグリコーゲンローディングなど) ・食後に生じる血糖値の急上昇を抑制する方策の検討 ・ヒューマンカロリーメーターなどを使ったエネルギー代謝研究(様々な企業・研究機関と連携。商品開発テーマもありますが、比較的身近な題材を対象とすることが多いです) ・スポーツドリンクの開発や水分摂取法の改良に向けた研究 ・環境シミュレーターを用いての低酸素トレーニングの研究 *文献研究については、広範なテーマに応じています
履修することが望ましい科目	スポーツ栄養学、基礎実習、栄養学(円滑な学びのために、履修が完了していて欲しいですが、未履修者は3年次に優先して履修をお願いします)

受講生に望むこと	文系か理系かを問わず、自己研鑽意欲の高い学生にはとてもやりがいのあるゼミです。努力した分だけ成長が実感できますので、積み重ねの得意な学生は本人が想像もしないレベルに到達するでしょう。質の高い時間を過ごし、目指すは“準大学院生”化です。ゼミという <u>新しい居場所</u> で、チームメイトからの刺激に学べる学生でしたら、大いに活躍してもらえましょう。 意識改革のきっかけをもたらす出会いには期待して下さい。素敵なメンバーが集まっています。推進力高く前に進む先輩・卒業生と共に、上下関係抜きで苦楽を共にするチームがエビゼミです。 組織を大切にしながらも、その中で個性を発揮したいと考える学生は前向きに検討してみてください。
1次募集で定員を超えた場合	志望理由書とインタビューにより選考します(6名程度まではインタビューを省略して決定することがあります)。 ①学生の興味・関心と指導可能領域の一致度、②履修状況(GPAのみでの機械的判断はしません)の2つの観点で、当ゼミが提供するサービスが本人にとって有意義であるか、当ゼミで成長が期待できる人物かを総合的に判断させていただきます。 インタビューについては、11/14～18の学生の希望日時にオンライン(Zoom)または教室で対応します。
2次募集で定員を超えた場合	選考方法は1次募集に準じます。インタビューが必要となる場合は、12/5～7の希望日時に行います。
お知らせ(説明会・相談会)	ゼミ見学会が実施できないので、いくつかのメディアでゼミを紹介します。他のゼミも含めて広く情報収集したうえで、エビゼミで学ぶべきと判断した学生は2年間よろしくお願いします。 1)OneDriveフォルダを通じて、ゼミや説明会(10/25実施予定)の詳細を案内します。説明会の収録動画も提供予定です。 https://doshishaacjp-my.sharepoint.com/:f/g/personal/nebine_mail_doshisha_ac_jp/ErwWrImgQdhOoo29tgIh31ABwGxWhL5fCZDwB_iR0yQ5mA?e=hadici 2)エビゼミ生より:「紹介動画を作ったので、これを参考にゼミの雰囲気を感じてください」 https://www.youtube.com/channel/UCCyFUOLkA0BDEyISbdrePKA



福岡クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	福岡義之
演習テーマ・研究領域	環境生理学、応用人類学 「人体のメカニズムや環境適応の観点からヒトの可能性を最大限に引き出すこと」をテーマとし、ヒトに関わる生活科学からトップアスリートのトレーニング科学、さらに、障がい者のリハビリテーションや高齢者のヘルスプロモーションの運動処方を研究します。
担当者の自己紹介	金沢大学教育学部卒業後、身体科学の世界に興味を持ち、筑波大学大学院体育科学研究科体育科学専攻博士課程へ進学。修了後、研究者の道へ。スポーツ科学、応用人類学、環境生理学を専門領域としています。日本生理人類学会では理事も務めています。
研究内容	環境生理学実験室では、呼吸ガス装置、NIRS、温度データロガ、血流計、血圧計、筋電計を用いて呼吸・循環・体温・筋活動を同時測定し、低酸素、高温、低温、無重力など様々な環境に対する身体の急激な変化を調べ、人体のメカニズムを明らかにします。 ゼミでは、文献抄読から実験実習に移行していきます。半期で興味あるテーマを選択し、それに必要な実験手技を習得していきます。その後、人体(主に呼吸・循環・体温)の生理実験→データ分析→発表・討議→レポート作成、という一連の流れを通して、身体科学的に捉える視点を身につけます。 企業との共同研究についていくつか紹介します。 1. 高齢者に対する健康づくりを目的としたノルディックウォーキング時の筋酸素ダイナミクス 2. マイクロバブル装置を用いたアスリートの疲労回復と暑熱環境適応 (mizunoとの共同研究) 3. アスリートの活性酸素消去の革新的装置開発(iwataniとの共同研究) 4. ヒトの歩・走行能力を支える代謝系統合調節の探究 5. 低温・低酸素暴露下での呼吸－循環－体温システムのクロスアダプテーション 興味ある学生は、大学HPの研究者データベースをご覧ください。 https://kendb.doshisha.ac.jp/profile/ja.57f2e4c2c30d07a2.html



履修することが望ましい科目	生理学、スポーツ医学、スポーツ栄養学、スポーツ統計情報処理(円滑な学修のために、履修が完了していて欲しいですが、未履修者は3年次に優先履修して下さい)
受講生に望むこと	実験における失敗や未知なる結果との遭遇は、座学では得られない貴重な経験です。またチーム内の連携は、一人では成し得ない大きな成果を導き出すでしょう。このような「実践知」は卒業後の人生にも大いに役立つはずです。福岡ゼミでは、米国、イギリス、オーストラリア、イタリアなど海外の研究者との研究交流もあります。海外での共同研究に参加してみたいという国際感覚ある学生も歓迎します。 呼吸・循環・体温調節やトレーニングという分野の中で、皆さんそれぞれが個性を発揮しつつ、高い志を持ってゼミ活動に取り組んで欲しいと思います。
1次募集で定員を超えた場合	志望理由書と学業成績により選考します。 備考:GPAが等しい場合は、単位数が多い方を上位とします。志望理由書は、希望する研究テーマと提供できる研究テーマのマッチングを評価します。
2次募集で定員を超えた場合	志望理由書と学業成績により選考します。 備考:GPAが等しい場合は、単位数が多い方を上位とします。志望理由書は、希望する研究テーマと提供できる研究テーマのマッチングを評価します。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	対面(BJ153)でのゼミの説明会・相談会を予定してます。 10月25日(火曜)12:30~13:00 10月28日(金曜)12:30~13:00 希望者はできるだけ10月24日(月曜)までに、 yfukuoka@mail.doshisha.ac.jpに連絡をしてください。

高倉クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	高倉 久志
演習テーマ ・研究領域	研究領域: スポーツ生化学・分子生物学 【最近の主な研究テーマ】 ・持久力向上を目指した効果的な低酸素トレーニング 方法の検証 ・サリノール摂取と有酸素運動の併用が肥満解消を促進するメカニズムの解明 ・寒冷暴露とサリノール摂取による代謝能力向上の機序解明 ・陸上長距離種目での「脚をつくる」トレーニング の科学的効果の検証
担当者の自己紹介	専門競技は陸上競技(中長距離)でした。持久的運動能力を効率的に向上させるにはどういったトレーニング が最適なのか？という疑問から、特に筋の代謝機能に着目して生化学的側面から研究しています。
研究内容	高倉ゼミでは、実験的根拠に基づいたヒトへと還元・応用できる運動トレーニング の開発を目標としながら、「骨格筋」「有酸素性代謝能力」「競技力向上」「ミトコンドリア」「低酸素」などをキーワードに実験動物や培養細胞を用いて研究に取り組み、持久的な運動パフォーマンスや生活習慣病の予防・改善に重要な筋有酸素代謝能力がトレーニング によって向上する仕組みについて分子レベルで解明しようとしています。卒業研究では、【最近の主な研究テーマ】に則した内容に取り組んでもらっても構いませんし、自身で興味のある内容を設定し、その研究に取り組んでもらうことも可能です。 その他の情報についても研究室のHPをご覧ください。 URL: https://sites.google.com/view/takakuralab/
履修することが望ましい科目	スポーツ健康科学のための自然科学入門B・生理学・スポーツ生理学・スポーツ栄養学・スポーツ統計情報処理

受講生に望むこと	知的好奇心とやる気。ゼミでは外国語文献(英語)を読むこともあります。トレーニング による競技力向上や継続的な運動による健康増進の仕組みについて興味がある人、一緒に研究しましょう。
1次募集で定員を超えた場合	【選考方法】志望理由書と学業成績、面接により選考 【日時】11月14日(月)10時から18時 【場所】個人研究室(磐上館BJ356)かZoom * 10分程度の面接を予定。面接の希望時間帯や方法をE-mail(htakakur@mail.doshisha.ac.jp)であらかじめ連絡すること
2次募集で定員を超えた場合	【選考方法】志望理由書と学業成績、面接により選考 【日時】12月5日(月)10時から18時 【場所】個人研究室(磐上館BJ356)かZoom * 10分程度の面接を予定。面接の希望時間帯や方法をE-mail(htakakur@mail.doshisha.ac.jp)であらかじめ連絡すること
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)  研究分野紹介動画  ゼミ紹介動画	<ゼミ説明会について> 磐上館演習室4(BJ235)にて実施します。 11月1日(火)12:40～を予定しています。 <ゼミ相談会について> BJ356にてゼミの相談会を実施します。実施予定日は、以下の日程を考えています。 10月25日(火)11:30~12:30 10月28日(金)11:30~12:30 実施時間帯の必要な時間だけでの参加で大丈夫ですので、参加を希望する場合には参加希望日を記載してE-mail(htakakur@mail.doshisha.ac.jp)を送って下さい。 なお、E-mailでの問い合わせも歓迎です。

上林クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	上林 清孝	受講生に望むこと	探究心をもち、困難に思われることでも積極的にチャレンジする主体性のある学生を望みます。実験は一人で出来ないことが多く、仲間との協調性も必要になります。神経科学に興味がある学生、ぜひ一緒に面白い研究をしましょう。
演習テーマ・研究領域	運動制御・運動学習、脳・神経科学 ヒトの身体運動を生み出す 脳・神経・筋の機能 、反復練習によって 運動が上達するメカニズム 、 アスリート脳の構造的・機能的特徴 などについて研究しています。	1次募集で定員を超えた場合	[選考方法]学業成績、面接、志望理由書により選考 <面接> 【日時】11月17日(木)9時から18時 【場所】個人研究室（磐上館BJ309）またはZoomで * 10分程度の面接を予定。面接の希望時間帯や方法をE-mailであらかじめ連絡すること (E-mail:kkamibay@mail.doshisha.ac.jp)
担当者の自己紹介	東邦大学大学院で博士(医学)取得後、国立障害者リハビリテーションセンター研究所、筑波大学を経て、2013年から現職です。どのようなしくみで運動が上達するのかといった疑問から神経科学に興味を持ちました。これまで脳卒中や脊髄損傷後のリハビリテーションに関する研究にも携わっています。よくスポーツ観戦しています。	2次募集で定員を超えた場合	[選考方法]学業成績、面接、志望理由書により選考 <面接> 【日時】12月5日(月)9時から18時 【場所】個人研究室（磐上館BJ309）またはZoomで * 10分程度の面接を予定。面接の希望時間帯や方法をE-mailであらかじめ連絡すること
研究内容 研究室webページ  研究室Twitter @KamibayashiLab 	身体動作は筋収縮によって生み出されますが、その筋収縮がどのように調節されているのか、運動システムについて学びます。また、運動制御に関わる感覚系についても学習します。演習の授業では、筋電図、動作解析、重心動揺、脊髄反射、脳機能・構造[経頭蓋磁気刺激(TMS)、脳波、MRI]などの 計測を通じて、研究に必要とされる実験手法を学びます 。競技レベルの異なる被験者間での筋活動の差異、巧みな動作の再現性、環境変化に対する歩行・走行の適応、脳刺激による脳機能の向上、運動観察・運動イメージによる脳の興奮性変化、緊張によるパフォーマンス低下、効率的な運動学習方法の探索など 各自興味をもったテーマで卒業研究を進めてもらいます 。 詳細については研究室のwebページをご覧ください。 https://www1.doshisha.ac.jp/~kkamibay/	担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	ゼミの説明会・相談会を開催予定です。 ・ 10月28日(金) 12:30-13:00 知真館 TC2 205 ・ 11月1日(火) 12:30-13:00 Zoom https://us06web.zoom.us/j/88936573832?pwd=TWRWOVB3MHQxY0VMYTJMTZiOUVZUT09 ミーティングID: 889 3657 3832 パスコード: 671154 質問や相談がある場合は、メールでお問い合わせ下さい。 (E-mail:kkamibay@mail.doshisha.ac.jp)
履修することが望ましい科目	身体運動制御論、スポーツ機能解剖学、スポーツ統計情報処理		

若原クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	若原 卓
演習テーマ・研究領域	「運動器(主に骨格筋)のバイオメカニクス」 具体的には、以下のようなテーマに取り組んでいます。 ・骨格筋の構造と機能はどのような関係にあるか？ ・トレーニングによって筋・腱はどのように変化するか？ ・スポーツにおける基本的な動作(走、跳、投、蹴など)のパフォーマンスを高めるために、重要な筋はどこか？ ・スポーツ選手の筋のかたさ(柔軟性)の特徴は？
担当者の自己紹介	もともとトレーナーを志望して早稲田大学人間科学部スポーツ科学科に入学しました。大学時代に出会った恩師の影響で、自分自身で新しいことを発見する研究者に魅力を感じ、現在に至ります。
研究内容	ゼミは実験実習を中心に進めます。講義を聞いて頭で理解した(つもりになっている)ことも、実験を通してより深く理解できると考えているからです。例えば、MRIや超音波装置を用いて筋や脂肪の量を測ったり、筋のかたさ(柔軟性)を調べたりします。また、筋力計で最大筋力・筋パワーを計測したり、筋電計により筋の活動を調べたりします。これらの実験方法を学びながら、人体の構造的・機能的特性を調べます。実験→データ分析→発表・討議→レポート作成、という流れを通して、人体やスポーツを科学的に捉える視点を身につけ、卒業研究につなげます。 <ゼミ卒業生の卒業論文のタイトル例> ・単関節動作と多関節動作における筋活動の相違 ・等尺性膝伸展動作における同一筋内での活動交替 ・サッカーのインサイドキックとインステップキックにおけるボールスピードと腸腰筋の断面積の関係 ・バレーボール選手における大腿四頭筋各筋の断面積と跳躍高との関係 ・ハムストリングスの柔軟性と400 mハードル走におけるハードリング時の疾走速度との関係 ・陸上競技400 m走における下肢の筋電図 ・Association between trunk and gluteus muscle size and long jump performance(本文も英語で執筆)

ウェブサイト



Twitter



履修することが望ましい科目	スポーツ生体ダイナミクス スポーツ機能解剖学
受講生に望むこと	・筋や腱の構造・機能やそのトレーニング変化に興味のある人 ・スポーツ健康科学に対する高い志を持つ人(大学院進学希望者など)を歓迎します。
1次募集で定員を超えた場合	志望理由書、学業成績(GPAだけでなく、登録科目とその成績など)、面接により選考します。 <面接> 【日時】11月14日(月)15時から17時 11月18日(金)11時から17時 【場所】個人研究室(磐上館BJ310)またはZoomで * 10分程度の予定。希望時間帯と方法をE-mailであらかじめ連絡してください E-mail: twakahar@mail.doshisha.ac.jp
2次募集で定員を超えた場合	志望理由書と学業成績(GPAだけでなく、登録科目とその成績など)により選考します。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	ゼミ説明会 【日時】10/25(火)12:30-13:00 【場所】TC3-210 ゼミ学生に活動内容を説明してもらいます。途中参加・退出も可能ですのでゼミの雰囲気を確認してもらえればと思います。その他、相談などはEmailで連絡をください。 E-mail: twakahar@mail.doshisha.ac.jp

庄子クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	庄子 博人
演習テーマ・研究領域	スポーツにおける社会課題をビジネスの視点から解決策を考えるゼミです。総合型地域スポーツクラブ、プロスポーツ、スタジアム・アリーナ、など多くのスポーツの分野でビジネスモデルの導入が必要と考えられます。また公平・平等なスポーツ機会を提供するためにも民間ビジネスの力が必要です。
担当者の自己紹介	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程修了。研究のスタイルとして、スポーツビジネスのプロジェクトにできるだけ関わることを重視しています。学生の皆さんにも、フィールドワークやクラブのインターンなど、スポーツビジネスの現場に関われる機会をできるだけ提供したいと思っています。
研究内容	ゼミで取り組む研究課題の例を以下に示します。 ・NFTがもたらすクラブトークンの社会的効果 ・プロクラブの社会貢献を支える税制改革 ・アスリートを支えるファイナンス方法の検討 ・総合型地域スポーツクラブのビジネスモデルの検討 ・スポーツビジネスによる公平・平等な社会の実現 3回生は、グループで研究課題に取り組み、研究成果を発表する学生向けの学会や発表会に参加します。4回生では、個別に自分の研究テーマに基づいて調査や論文執筆を進めていきます。 これらの研究の調査として、スタジアムのフィールドワークやプロスポーツクラブと連携したインターンシップなどに取り組んでいきます。
履修することが望ましい科目	「スポーツビジネス論」と「スポーツ・マネジメント論」ですが、3回生からの科目になりますので、ゼミに入ってから履修してください。

受講生に望むこと	組織、体制、社会は所与のものではなく、人間が作っているものです。人間が作っているということは、変えることができるということです。スポーツという見方を通して、より良い社会を作っていくという気概のある人を望みます。
1次募集で定員を超えた場合	志望理由書をもとに面接を実施します。 日時:11月17日(木)10:00～ 集合場所:スポーツビジネス研究室(BJ206) 11月17日(木)の10時にBJ206に集合してください。抽選で順番を決め、面接は5～10分程度を予定しています。順番が後ろになった人は待機することになります(待機場所は自由)。どうしても11月17日が不可能な学生は、他の日程を調整しますので、hishoji@mail.doshisha.ac.jpまで事前に連絡をください。
2次募集で定員を超えた場合	志望理由書をもとに面接を実施します。 日時:12月5日(月)10:00～ 集合場所:スポーツビジネス研究室(BJ206) 12月5日(月)の10時にBJ206に集合してください。他は上記1次募集で定員を超えた場合と同じです。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)  DOSHISHA.SHOJI	【Zoomによる説明会&相談会】 11月1日(火)12:30～13:50(入退室時間は自由) 12:30～13:00 ゼミ学生を中心としたゼミ説明 13:00～13:50 個別の質問、相談を受けます。 URLは以下です。 https://us06web.zoom.us/j/85023406187?pwd=NUZKZDljWlZ2SnhNbit0elZCWHYxdz09 ミーティングID: 850 2340 6187 パスコード: 602571 その他質問がある場合は hishoji@mail.doshisha.ac.jpまでメールをしてください。
ゼミ生・ゼミ活動紹介	

松倉クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	松倉 啓太
演習テーマ・研究領域	・スポーツにおけるコーチング (考え方・指導法やトレーニング計画) ・指導者と選手との関わり方、チームマネジメント ・スポーツにおける選手・指導者に関する諸問題
担当者の自己紹介	専門種目はサッカーで、サッカー以外にも野球をはじめとする様々な種目の観戦に足を運んでおり、現在スポーツ界で起きている選手や指導者に関する諸問題にも興味を持っています。最近はDAZNでのサッカーとプロ野球観戦が一番の楽しみです。
研究内容	・スポーツ選手にとっての望ましい姿と指導者の関わり ・スポーツにおける動作分析や指導法 ・コーチとしての選手への効果的な働きかけ ・競技パフォーマンス分析 ・選手のプレー中視覚探索行動 ・指導者の指導中の視覚探索行動 特に、現在はトレーニングの変動性(例:異なる距離への投擲, 異なる表面でのプレー, 多様な用具の使用, ゲームにおける空間, 時間, 選手数の変化など)が、プレイヤーのトレーニング中の知覚と行動に影響を与えるのかを分析し、トレーニングにおいて、よりゲームに近いシチュエーションを作り出すことに興味をもっています。
履修することが望ましい科目	コーチング論(ただし必須では無い)

受講生に望むこと	将来的にスポーツの指導者として活動したい人をはじめ、スポーツの指導やコーチング、技術・戦術トレーニング手段について研究を行いたいという学生の皆さんを待っています。指導実践などを通して、様々な新しいアイデアやひらめきを出してほしいと思います。 スポーツの指導においては、指導対象のコンテキスト(文脈・状況)に応じた対応が常に求められます。ゼミを通していろいろな種目・競技レベルの背景を持った学生同士が多く意見や考えを共有しあえる場となることを希望します。
1次募集で定員を超えた場合	志望理由書、面接、学業成績により総合的に選考 <面接> 【日時】 11月14日(月) 10時から17時、 11月15日(火) 10時から13時、または16時半から18時 11月16日(水) 10時から13時 *対面またはオンラインで10分程度の面接を予定。 面接の希望時間帯ならびに希望する形式を11月12日(土)17:00までにE-mailにて連絡すること。 (E-mail: kmatsuku@mail.doshisha.ac.jp)
2次募集で定員を超えた場合	志望理由書、学業成績により選考
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	【説明会&相談会】10月25日(火)12:30～13:00 @TC1-304 「どのようなことを行うのか？」 「こんなことをやりたいのだけれども出来るのか？」 といった研究内容に関することから、 その他、質問や疑問がありましたら、ご参加ください。 メールでも質問を受け付けます。 (E-mail: kmatsuku@mail.doshisha.ac.jp)

河西クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	河西 正博	履修することが望ましい科目	障がい者スポーツ論、障がい者スポーツ論(応用)、スポーツ社会学
演習テーマ・研究領域	演習テーマ:障害者スポーツ論、障害学 研究領域 : 障害児・者のスポーツ社会化 障害者のスポーツ参加による「障害意識」の変容 障害者スポーツ場面における「障害者」「健常者」の関係性 障害児・者の運動、スポーツの活動実態(特別支援学校生徒、アスリート等)	受講生に望むこと	演習の一環としてゼミ合宿、各種障害者スポーツ現場での実習を行います。 部活動・その他活動との両立ができる ことが本演習に取り組む前提となります。
担当者の自己紹介	障害児・者のスポーツ環境の構築に向けた活動実態の把握(特別支援学校の体育授業、パラリンピアンなどの活動状況等)および、その背景にある障害当事者の「障害意識」の検討や、障害者スポーツにおける「健常者」の関わりや障害者との関係性について研究を行っています。 障害者スポーツに関わる実践として、日本パラバドミントン連盟、日本車椅子バスケットボール大学連盟の活動に携わっています。	1次募集で定員を超えた場合	志望理由書をもとにオンライン面接を実施(15分程度) 面接日時:11月14日(月)10:00~18:00 上記時間内で面接可能な時間を mkawanis@mail.doshisha.ac.jpまで必ず事前連絡をしてください。
研究内容	健常者のスポーツ実施率(56.4%)*両者とも「週に1回以上」 障害者のスポーツ実施率(31.0%)(スポーツ庁, 2022) 上記のスポーツ実施率の差はどこから生まれるのでしょうか。ちょっとした工夫や配慮があればスポーツに参加できるとしても、「障害があるから」という一言で遠ざけられてしまっている場合があります。 言い換えればスポーツが「できない」のではなく、さまざまな固定観念や思い込みで「できなくさせられている」のかもしれません。 本演習ではこのような背景のもとに、スポーツ場面で生じる「障害」とは何かということ、障害当事者やその傍らにいる健常者の意識、障害者スポーツを取り巻く環境等から検討していきます。以上の検討に当たっては、「障害」を単に心身機能・構造の欠損と捉えるのではなく、他者や集団との関係性によって生じる「社会的なもの・相対的なもの」と捉えてもらい、みなさんなりの「障害・障害者観」「障害者スポーツ観」を構築していただきたいと思います。	2次募集で定員を超えた場合	志望理由書をもとにオンライン面接を実施(15分程度) 面接日時:12月5日(月)10:00~17:00 上記時間内で面接可能な時間を mkawanis@mail.doshisha.ac.jpまで必ず事前連絡をしてください。
		担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	下記日程でオンライン説明会を実施します。 10月31日(月)12:20~13:00 参加希望者は10月29日(土)までに、 mkawanis@mail.doshisha.ac.jpまで連絡をしてください(ZoomのID・パスワードを返信します)。

新井クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	新井 彩	履修することが望ましい科目	スポーツ機能解剖学, スポーツ・バイオメカニクス, トレーニング論, スポーツ統計情報処理
演習テーマ・研究領域	<トレーニング科学, スポーツバイオメカニクス> より速く走りたい、高く・遠くに跳びたい、そのメカニズムを明らかにする、ということに基本的な興味関心があり、競技の現場的な動作やトレーニング、その基礎となるヒトの筋力発揮や制御、筋や腱のメカニクス等に注目しています。アスリートの動作から日常生活動作まで、歩く、走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な運動のパフォーマンスとそのトレーニングや長期的な適応、振る舞い等について研究しています。	受講生に望むこと	好奇心, 向上心, チャレンジ精神. 協調し協力し合うことができること. 自分の興味関心事・好きなことについて熱意を持って語れる人, 是非一緒に研究しましょう。
担当者の自己紹介	兵庫県神戸市出身, 専門競技は陸上競技(混成競技). 陸上競技の現場のコーチングに長く携わってきました。現場で溢れ出る疑問やアイデアを拾い、トレーニングの工夫をするには、研究は欠かせません。いつもあれこれトレーニングのことを考えています。	1次募集で定員を超えた場合	[選考方法] 志望理由書, 面接により選考. 興味関心のあるテーマと実施可能な研究テーマとのマッチングを重視します。 [面接] 11月16日(水)10:00~16:00 面接場所: 個人研究室(BJ308) ※前日17:00までにE-mailにて希望時間を事前連絡, 調整の上で面接時間を決定し返信します。面接時間は10分程度です。(E-mail: aarai@mail.doshisha.ac.jp)
研究内容	演習授業では、主に動作や筋活動等を観察する実験実習を行いながら、わたしたちがどのように身体を動かし、パフォーマンスを発揮しているのかの理解を進めていきます。主観的に理解している技術や身体の扱い方を、客観的にみて理解を深めていくことを目指した動作分析や、普段の練習や当たり前にやっていることへ切り込んでいくトレーニング課題、筋の活動や力を計測してその機能を調べていく研究など、ヒトの身体の動き、機能、トレーニングに注目しています。ゼミでは、運動をシンプルに捉えてメカニズムを明らかにするための研究デザインの検討、実験の実施、分析、論議、アウトプット(レポート・プレゼン)の流れを学びます。ゼミ内でのディスカッション機会を多く設け、論理的思考力を高め、想像・創造力を培い、卒業研究を進めていきます。ゼミ内では先輩後輩の垣根を超えて、活発に議論を進めています。 新井ゼミポリシーは、力は“つける”, センスは“磨く”です。 【卒業研究例】 ・陸上競技の短距離走におけるミニハードルの即時効果について ・棒高跳選手の形態的左右差の検討 ・リズムを制御したリバウンドジャンプのトレーニング効果 ・主観的な運動のグレーディングと運動成果に関する研究 ・着地動作のスティフネス特性 ・支持脚と非支持脚の制御方略の検討 etc... ※皆さんの興味関心のある動きやスポーツのアイデアから新たなテーマを構築することも可能です。	2次募集で定員を超えた場合	[選考方法] 志望理由書, 面接により選考. 興味関心のあるテーマと実施可能な研究テーマとのマッチングを重視します。 [面接] 12月5日(月)10:00~16:00 面接場所: 個人研究室(BJ308) ※前日17:00までにE-mailにて希望時間を事前連絡, 調整の上で面接時間を決定し返信します。面接時間は10分程度です。(E-mail: aarai@mail.doshisha.ac.jp)
 ゼミ紹介動画 https://youtu.be/M4nX6OluNLU		担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	【希望者には説明会・相談会を開催します】 左記QRコードを読み取り、ゼミ紹介を閲覧してください。個別にゼミの詳細を知りたい人、相談したい人は、メールにて連絡してください(aarai@mail.doshisha.ac.jp)。 10/25~11/1の期間でZOOMあるいは研究室にて可能な限り対応します。 BJ106トレーニング科学実験室 I で、実験・分析などゼミ活動を行っている様子は随時見学可能です。

遠藤クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	遠藤 華英
演習テーマ・研究領域	「スポーツを通じた国際協力」 「開発と平和のためのスポーツ」 国際社会の課題解決のためにスポーツを役立てようとする取り組みを指します。 環境、教育、ジェンダー、障害、、、世界は常に様々な課題と対峙しています。 スポーツが、すべての問題を解決することは難しいでしょう。 でも、スポーツがもたらす喜びや達成感、心身の充足は人々の生活の質を向上させ、最終的には社会課題を解決する糸口にもなります。
担当者の自己紹介	・ 早稲田大学スポーツ科学研究科(博士後期課程)修了。 ・ 日本財団パラスポーツサポートセンターや同志社大学ソーシャルマーケティング研究センターにも所属しています。 ・ これまで調査対象としてきた国 タイ／マレーシア／ラオス／インドネシア／カンボジア ・ 「スポーツで社会を少しでも明るく」を目標に、国内外の研究者や実務者と協力しながら調査研究を進めています。
研究内容	演習では、開発途上国を中心に、国内外の社会課題に対して、スポーツがどのような関わりがあるのか、改善に貢献しうるのか探求していきます。 各自が関心のある国・地域・社会課題などを選択し、情報収集やゼミ内でのディスカッションを通じて研究の骨組みを組み立ていきます。また、実際にスポーツ×国際協力の現場で活動している方々のお話を聞き、事業の成果を可視化・観測する方法論についても学びます。 過去の調査事例 ・カンボジア: 幼児教育における運動遊びプログラムの導入 ・タイ: スラム街に住む子どものスポーツを通じた社会参加 海外を含めた実地調査も積極的に支援します！
履修することが望ましい科目	指定はありませんので、関心のある社会科学系の科目を積極的に履修してください。

受講生に望むこと	・ 知的好奇心を持ち、自ら問いを立てて探求できる ・ とともに学ぶ仲間を大切にし、高め合える ・ 挑戦する事を恐れず、楽しく前向きに取り組める ・ 座学に加え、積極的に国内外のスポーツ現場を訪問して情報収集できる 以上のような方々を歓迎いたします。
1次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 志望理由書, 面接, 単位取得状況を基に選考いたします。 【面接】 11月15日(火)10:00～13:00／17:00～19:00 面接方法: 対面による面接 ※前々日までにE-mailにて希望時間を事前連絡, 調整の上で面接時間を決定し返信します。面接時間は10分程度です。
2次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 志望理由書, 面接, 単位取得状況を基に選考いたします。 【面接】 12月6日(火)10:00～13:00／17:00～19:00 面接方法: 対面による面接 ※前々日までにE-mailにて希望時間を事前連絡, 調整の上で面接時間を決定し返信します。面接時間は10分程度です。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	希望者を対象にゼミ3年生・4年生を交えたオンライン説明会＆相談会を行います。今年度ゼミで実施したタイ現地調査の報告も行います。 10月27日(木) 12:15～12:50 @zoom 希望者は10月26日(水)正午までにE-mail (hendo@mail.doshisha.ac.jp)にご連絡ください。 個別相談も対応しますので、気軽にお問い合わせください。

ゼミの公式インスタです！



DOSHISHA_ENDOZEMI

築瀬クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	築瀬 康（やなせ こう）	履修することが望ましい科目	コンディショニング論やスポーツ機能解剖学などが基本。 （必須ではありません）
演習テーマ・研究領域	■ 身体の柔軟性（ストレッチ研究が専門） ■ コンディショニング ■ リハビリテーション ■ トレーニング 以上4領域から、興味ある分野を選びましょう。 テーマを、ゼミ活動時間で見つけてもOKです。 みんなで日頃の疑問を解決しましょう。	受講生に望むこと	・ 適度に真面目 & ポジティブ思考の方！ ・ コミュニケーションをとりながら研究活動できる方 部活・就活・アルバイト・趣味・遊び・睡眠など、 人により優先順位は異なりますが、どれも大切でしょう。 これらに「研究活動」も優先的に加えて下さる方を歓迎！
担当者の自己紹介	□ 人との関わりを喜び、楽しく生きることがモットー □ 京都大学医学研究科で研究 □ 高校バレーボール部&医療現場でリハビリ業務 □ 語学留学&国際学会発表の経験あり □ 根からポジティブ+更なるポジティブ思考を目指し中 □ 最近はインスタグラム📷で発信を始めました	1次募集で定員を超えた場合	志望理由書・面接・GPAにより選考します。 面接日程 11/14(月)～18(金)にZoom等で対応します。 11/14(月)17:00まで希望日時を kyanase@mail.doshisha.ac.jpにご連絡ください。
研究内容	「研究は難しい」というイメージがあるかもしれません。 私もそうでした。 でも今は「研究とは小学校で経験した自由研究に少し毛が生えたようなものから始まる」と感じています。 私の役割は「自由研究」から「大学での研究」へ繋がる架け橋になること。 人に伝えたくなるようなワクワクする研究を進めます。 希望があれば、国内・海外での学会発表をサポートします。 ゼミでは座学(論文を読んで最新の情報共有)と実習(実験)を組み合わせて、楽しく学べる時間を作っていきます。 これまでの研究を一部紹介します。 ①フォームローラーは身体の柔軟性向上に有効か？ ②姿勢を良くするために何のストレッチをすれば良いか？ ③筋肉の効果的なストレッチ方法の開発 ④肩こり発生機序の探求 ⑤アイシングが運動後の筋力・筋柔軟性に及ぼす影響 ⑥電気刺激を用いた筋力トレーニング方法の開発 ⑦高齢者や腰痛者における姿勢・背部の筋肉量と硬さの調査	2次募集で定員を超えた場合	選考方法は1次募集に準じます。 面接日程 12/5(月)～7(水)にZoom等で対応します。 12/5(月)17:00まで希望日時を kyanase@mail.doshisha.ac.jpにご連絡ください。
 YANA_PYO__N ↑ゼミ活動を紹介		担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	<全体説明会－築瀬ゼミの学生が参加予定－> 10月25日(火) 12:30～12:50 10月26日(水) 12:30～12:50 希望者は10月24日(月) 17:00まで kyanase@mail.doshisha.ac.jpにご連絡ください。 <Zoom or 対面にて個別相談> 希望者は希望日時を kyanase@mail.doshisha.ac.jpにご連絡ください。

土屋クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担 当 者	土屋 吉史	履修することが望ましい科目	生理学、スポーツ生理学、スポーツ栄養学、スポーツ統計情報処理
演習テーマ・研究領域	研究領域: 筋肉・骨・腱の細胞を扱った分子生物学 以下の研究テーマを設定しています。 ➢ 筋肉・骨・腱の細胞間ネットワークの解明 ➢ 加齢に伴う筋肉・骨・腱の細胞間コミュニケーション情弱性の解明 ➢ 閉経後女性の筋肉・骨・腱の細胞間コミュニケーション情弱性の解明 ➢ 運動や運動トレーニングによって筋肉で作られるタンパク質が他臓器に及ぼす影響の解明	受講生に望むこと	「誠実さ」この一言に尽きます。
担当者の自己紹介	2022 年 2 月まで、デンマークにある病院で研究者として勤務していました。自身の研究成果を『世界中の様々な年齢層の人々が 1 秒でも長く健やかに生きることに関心』というロマンをもって仕事をしています。皆さんが努力して出された研究成果は、責任をもって国内外へ発信していきたいと思います。	1次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 書類選考・面接 【判断基準】 志望理由、興味と研究テーマとのマッチングをもとに判断します。 面接は11月15, 17, 18 日のいずれかに対面で 10 分程度。面接の希望時間帯をE-mailであらかじめ連絡してください。 E-mail:yotsuchi@mail.doshisha.ac.jp
研究内容	夢や目標をもつことは、活力ある生活を送るために大切です。私は基礎研究にて、筋肉や腱、骨に居る細胞を元気にしてあげる工夫や、誰も知らない細胞間ネットワークの発見すること、これらを上手に利用することで、健康寿命延伸に関心するという夢・目標を持っています。難しそうに思われるかもしれませんがこうした研究は、高齢者はもちろんのこと、アスリートの素早い疲労の回復や、子どもの健やかな発育発達をサポートする研究にまで応用・発展が可能です。まさに、“人類が健やかに過ごす希望の研究”と成り得ます。これは、我々の身に起こる生命現象を、「細胞の振舞い」というミクロな単位で知ることのメリットです。自身の研究によって、皆さんがおじいさん・おばあさんになったときに、皆さん自身の健康寿命を延ばす日がくるかもしれません。一緒に夢を追いませんか？	2次募集で定員を超えた場合	1次募集と同様に行います。
		担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	ゼミ紹介資料は特に用意していません。質問がありましたら、個人オフィスを訪ねていただくが、メールにて問い合わせください。 個人オフィス場所: BJ303 E-mail: yotsuchi@mail.doshisha.ac.jp